

添付資料④ アンケート・意見用紙に寄せられた感想意見の概要

[1] 本日の感想

1. 沢山の意見が出され、関心の強さがわかる、大変参考になった 1 8
2. 生産者の方と同じ土俵で話せたことは素晴らしい、もっと聞きたい 3
3. いつでも、どこでも、安全で、安心して美味しい食品を入手したい 4
4. 食品をつくる周辺環境に配慮する大切さも感じた 2
5. 産業廃棄物、農薬の空中散布、遺伝子組み換えなどの勉強すること 2
6. 農業現場で起きていることが分かった。
7. エコ農産物の基準は守られているの？
8. 生産者を思いながら無駄がないよう心がけている
9. 人や自然を大切にする生産者がむくわれる仕組みを
10. 生産から流通・販売までのシステムをどうつくっていくかも大きなテーマ 2
11. 食べる行為から経済社会・生産に関わる、食の関係を大切にしたい
12. 食育プログラムにとりこんでいく 2
13. 普段の生活から誰でも発言ができる、小さな単位の場があるとよい 4
14. 生協以外の方にもわかる、簡単な言葉での情報がほしい
15. 各生協の特徴ある発表でした、条例に盛り込みたい項目を入れるとよい 2
16. 1つのテーマで思いを発表する ともっとわかり易い
17. 地元の産物を食べるように心がけている、全部は無理なので輸入食品も安心して食べたい
18. 次の世代を考えると、自衛しているが知らないところで危険にさらされている
19. トレーサビリティーの表示を分かりやすく考えてください 2
20. 千葉県産だから安心ね、といわれるようにしたい 4
21. 食の安全の視点を持って情報を集めることを心がける 情報公開が大切 6
22. 原産地・原産国表示など表示は知りたい情報になっていない 4
23. 行政と相互理解を出来るように情報・意見交換を対面型でお願いします
24. 環境の話が出ましたが、「里山条例」など他の条例との関係を整理する
25. 安全安心な食に、責任を持って知識、関心を高めることが大切 2
26. 千葉エコ農産物と慣行栽培の基準差がわかる比較材料がほしかった
27. 食の安全に興味のない人へ伝える大切さ、色々な広報を検討したい 3
28. 食べることは体をつくる基本、食事を大切にしたい 選んで食べたい 7
29. 消費者の意見は多く寄せられているが、生産者の声を集める場はあるか 2
30. 県内生協の組合員が力をあわせ実現できることが大切、やれそうな感じ 2
31. 身近な店で安全安心な食品を、誰もが買えるようになると嬉しいですね 3
32. 多くの消費者が何を要望しているか知る、対面型が大切です

33. 将来の千葉県、日本を考え、行政・生産者・製造者・消費者皆が真剣に取り組む
34. 県民皆で条例を作り守るため、行政の力がが必要です。一緒に作るが「村」であってほしい 3
35. 行政は聞きっぱなしでなく、県民と対話して頂きたい 3
36. 農業は生命産業、食の安全安心確保のため生産農家のできることを取り組んでいます 千葉エコ農産物・J-GAPの展開
37. 参加の皆様は消費者や生産者の一部かも知れませんが、多くの方の代弁者だと感じました
38. 勉強会・ワークショップの主旨は様々な意見を交わす場です、どんな人も自由に発言できるような進行であること
39. GMOの関心の声があったが、「種」の内容がよく判っていない。国のチェック機関の確立、日本の「種」の方向が重要
40. 農産物を含むすべての食品の安全安心を確保する条例を願う
41. 県民皆が低価格で食べられる食品全体のレベルをアップすることを願う

[2] 条例への要望、生産・加工・行政などへの要望

1. 生産者も消費者も安心して暮らせる千葉県になる条例してください
2. 県民が誇りの持てる条例してください 2
3. 理念・理想だけで済むものでない、予防原則が本当に必要な時です
4. 食品に関わることを大きくとらえて、家庭排水、空中散布等トータルで暮らしが守られる条例にしてほしい 2
5. 水や空気・大地をも含む食の安全を包括的に対応できる実効性ある条例を望みます
6. 行政は、県だけでなく、身近な市町村の働き・責任も明確にしてください
7. 県民の声がきちんと知事へ届く仕組みを作って頂きたい
8. すべての食品の安全・安心を確保するため、農産物などの狭い範囲にならないように、県民みんなが食べる食品のレベルアップを願います 2
9. 安全・安心な食のため消費者・生産者の教育が大切
10. 生産者へ指導だけでなく、知識の普及をしてほしい
11. 各自が自覚・責任ある条例、リスクコミュニケーションは行政から消費者まで同じ立場で
12. 生産者団体として、もっと幅広い意見交換をする場を実現してほしい
13. 生産者と消費者の交流の中で、一緒に進める機会があるといい
14. 校給食にもっと食育を取り入れて、身体を作る食を大切に作る人間を育ててほしい
15. 学校給食に確かなものを提供する予算措置をすること
16. 子どもに関わる人々が日常的に食について伝えられるよう 教育機関での充実に確保してほしい

17. 食に関する勉強会を子どもだけでなく、大人も学べる場を行政が積極的に作ってほしい
18. 生産・製造・加工業者が充分理解し・取り組める内容の条例にしてもらいたい、消費者のわがままにならないように
19. 「疑わしきは禁止」のスウェーデン政府の原則を取り入れてください
20. 遺伝子組み換え作物は一度環境に出ると止められない。全国第2位の農業県として、安全安心を守るため栽培禁止を条例に盛り込むこと。行政は意思を持って千葉の食をどうして行きたいか条例で方向を示してほしい。全食品のGM表示義務化、GM Oフリーゾーン宣言運動の推進 16
21. 食の自給率を上げること、
22. GM作物は試験栽培のみ認められているが、輸入実態、自生の状況など情報を伝え県民に判断してもらうこと
23. 思いではなく現在の科学的な根拠にもとづいて、正確なリスク評価を。
24. GM O排除はその段階でなく、情報、影響評価、技術に対する評価を含め途中段階と認識している
25. GM問題は、北海道の知恵を学ぶこと 交雑・混入の防止です
26. 新潟県連がGMイネ作付け実験問題に取り組んでいます、取材交流してはいかがでしょうか
27. がんばっている生産者がむくわれるような条例であってほしい 3
28. 環境に配慮している生産者へ優遇措置すること
29. 誰が見てもわかる食品表示にすること、加工食品や外食産業でも
30. 県民誰もが安全安心な食品がわかる、表示義務をしっかりとしてほしい。選ぶ権利を守るためにも 5
31. 消費者が責任を持って選択できる情報の発信が最も大切です。
32. 千葉で売っているものなら安心して食べられるのが理想です
33. 情報の開示はインターネットだけに頼らず、もっと正確に積極的に行うこと
34. スピーディーで正確な情報の公開を求めます
35. 生産者・行政と消費者の交流が信頼関係を結ぶ大きな要素になる
36. 基本法の精神を生かし、千葉県の実情に合わせた具体化の条例を期待します
37. 条例の策定が終わりではなく、点検し、改正もしていく必要がある
38. 生協は生産者を応援し安全安心な食品を入手できる仕組みを作ってきた。行政は県単位や市町村単位安全安心な農産物を広げ、普通に購入できる社会を
39. コストダウンだけをねらうような、川の中の流れを止めてほしい
40. エコ農産物、農業現場でのISO的取組み、これらを条例に取り込めたらよいと思う
41. エコ農産物から畜産物、水産物、加工品へひろがる条例に

42. 農家は3区、輸入農産物の間で収入も多くなく、農家にとって何が変化していくのか見る必要がある
43. 行政は農家の実態を知らなすぎる
44. 条例への提案は具体的なポイントをしぼった内容を期待します
45. 生協がひとつになって条例作りを進めることを希望します
46. 30年位前「アスベストは危ないらしい」が今たくさんの方が被害が報告されています、きちんとした対策が採られていたら。疑わしきは使用せずの精神で。
47. 生産・加工業者は自分が食べることを頭において、生産・加工・製造してほしい
48. 食品添加物の数の多さにびっくり、許可が簡単、外国の圧力の実態も知りました。仕組みを何とかしたい
49. 田舎の浄化槽問題は深刻、早く浄化システムを作ってほしい 2
50. 農薬のこと、遺伝子組み換えのこと何がどのように悪いかわかりやすく説明を聞きたい